

二神通信

校訓

自主 協力 責任

津久見市立第二中学校
学校通信 第 50 号
令和 1 年 1 2 月 2 4 日 (火)
文責 校長 阿部 幸士

中学生の支え合いやぶつかり合い、涙や笑い、苦い思いや熱い思いが詰まった2学期が終わりました



成 越 一 絆

本日の終業式の中で、第二中のそれぞれの学年のスローガンまたはテーマを基に、「自分たちがそれに向かってどれだけ真剣になれたか、どれだけ頑張れたか」について振り返りました。

そして、「周りの人と優しい気持ちでつながり合おうとする二中魂」とは相反する言葉遣いが、残念ながら多くなっていると思うことも正直に伝えました。何気ない優しさで人の心を温かくする二中魂を大切にするためにも、今の姿を厳しく振り返り、次の新しいステップへ気を引き締めていくことが大切だと思います。

冬休み中は、くれぐれも病気やケガに気をつけ、事故や事件にあわないように注意してください

《保護者の皆様方・地域の皆様方へ》

この二学期の間、第二中学校の教育活動に、いつも前向きで温かいご支援・ご協力をいただきましたことに対しまして、心から感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

おかげをもちまして、第二中学校の教育活動も一歩一歩進んできていると考えております。

生徒たちには、冬休みの生活を自分なりの満足感をもって過ごしていけるよう支援し、三学期には、生徒たちのさらなる成長を目指して教育活動を推進してまいりたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。佳いお年をお迎えください。